

令和4年秋の褒章において 当社社員が「黄綬褒章」を受章

ヤマザキマザックグループ(本社:愛知県丹羽郡大口町)の社員2名が、令和4年秋の褒章において「黄綬褒章」を受章しました。

「黄綬褒章」は工業、商業、農業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する個人に対して与えられる褒章です。

今回、「黄綬褒章」を受章した当社社員は以下の2名となります。

- ・原 稔(はらみのる) ヤマザキマザック株式会社 所属
- ・坂口 好彦(さかぐちよしひこ) ヤマザキマザック マニュファクチャリング株式会社 所属

原社員は1971年の入社以来、工作機械の主軸やテーブルの組立に40年以上にわたり従事してきました。主軸部品の高精度な仕上げ加工方法や、主軸組立の高効率化に寄与する作業方法を考案したことなどが評価され、今回の受章となりました。

坂口社員は1978年の入社以来、工作機械の組立、調整、保守など多岐にわたる作業に40年以上にわたり従事してきました。中でも複合加工機の高精度な仕上げや、大型社内設備機械の保全において力を発揮し、生産拡大に貢献したことなどが評価され、今回の受章となりました。

ヤマザキマザックグループで「黄綬褒章」を受けた社員は、今回の受章で累計7名となりました。今後も当社は高度な技能を有する人材の育成に努め、高性能な工作機械の提供を通して世界のものづくりの発展に貢献していきます。